

東京水産ターミナル（株）に対し、 シンジケート方式によるグリーンローンを実施 -環境性能に優れた世界最大級の冷蔵倉庫開発への支援-

株式会社日本政策投資銀行（以下「DBJ」という。）は、東京水産ターミナル株式会社（本社：東京都大田区、代表取締役社長：武田信一郎、以下「当社」という。）に対し、新冷蔵倉庫建設資金等を使用とするシンジケート・ローンを、グリーンローンとして組成しました。

当社は、大井水産物埠頭を冷凍水産物の物流拠点として構築することを目的に1972年に設立された冷蔵倉庫事業者であり、日本の輸入水産物の1割以上を取り扱う低温物流の一大拠点としての役割を果たしています。当社は、冷蔵倉庫設備の経年化等への対応のため、世界最大級の新冷蔵倉庫の開発と移転を計画しています（2027年度竣工予定）。

今般当社は、グリーンローン（注1）の実施に際し、環境改善効果のある事業に係る資金調達を行うための方針である「グリーンローン・フレームワーク」を策定しました。本フレームワークの適合性評価については第三者評価機関である株式会社日本格付研究所（以下「JCR」という。）より、「JCR グリーンローン・フレームワーク評価」の最上位である「Green1 (F)」の評価を付与されています。

また、新冷蔵倉庫は、高い環境性能によりCO2排出量を大きく削減すると共に、自然冷媒の使用により環境負荷を軽減するなど、高い環境改善効果を見込んでおり、「国内トップクラスの卓越した「環境・社会への配慮」がなされた建物」として、DBJ Green Building 認証のプラン認証（注2）を獲得しています。

DBJは、企業理念「金融力で未来をデザインします～金融フロンティアの弛まぬ開拓を通じて、お客様及び社会の課題を解決し、日本と世界の持続的発展を実現します～」に基づき、カーボンニュートラルに向けたお客様の取り組みを積極的に支援してまいります。

（注1）「グリーンローン」とは、グリーンファイナンスの一つであり、物流倉庫整備等の適格性が評価されたグリーンプロジェクト（「適格グリーンプロジェクト」）に資金用途を限定して融資を実施するものです。

「適格グリーンプロジェクト」とは、借入人が事前に設定する適格クライテリアに該当するプロジェクトのうち、適切な社内決定プロセスに基づき承認された事業を指します。当社においては適格クライテリアを①「グリーンビルディング（DBJ Green Building 認証3つ星～5つ星を取得済みもしくは今後取得予定の物件）」、②「エネルギー効率（従来比30%程度以上の省エネルギー性能を有する高効率な冷凍冷蔵設備）」と設定しています。

(注2) 「プラン認証」とは、竣工前の物件について、その開発計画を元に、環境性能やテナント利便性、その他オーナーや物件関係者との間で予定されている種々の取り組みを、DBJ Green Building認証のモデルを使ってスコアリングし、その開発計画である「プラン」について認証する仕組みです。



【お問い合わせ先】

企業金融第3部 電話番号 03-3244-1990